



2020年4月6日

豊田合成株式会社
豊田合成九州株式会社

豊田合成九州、工場の電力を再エネ化

豊田合成株式会社(本社:愛知県清須市、社長:宮崎直樹)のグループ会社である豊田合成九州株式会社(本社:福岡県宮若市、社長:宮本康司)は、CO₂削減の一環として、工場で再生可能エネルギー由来の電力を導入しました。

当社グループは長期環境目標(TG2050 環境チャレンジ)において、2050年までにCO₂排出量を極小化することを目指しています。これまでも各工場で、太陽光や風力といったクリーンエネルギーを活用した発電設備のほか、省エネルギーな生産設備を導入するなど、CO₂削減を進めてきました。

今回新たな取り組みとして、豊田合成九州の佐賀工場と本社工場の一部で、九州電力の再生可能エネルギー電源(水力、地熱)を活用した「再エネ ECO プラン」を導入しました。これにより豊田合成九州のCO₂排出量を年間で約3,600トン削減するとともに、電気料金の一部が水力や地熱発電の充実に活用されることで、環境にやさしいクリーンエネルギーの普及に寄与します。

当社グループは環境に配慮した事業活動を通じ、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

電力の再エネ化の概要

契約会社	九州電力株式会社
契約プラン名	再エネ ECO プラン
購入電力量	年間 1,053 万 kWh
発電方法	水力発電、地熱発電
導入工場	豊田合成九州(株) 佐賀工場、福岡工場[一部]
CO ₂ 削減量	約 3,600 トン(年間)

豊田合成九州の概要

設立	2018年11月
本社所在地	福岡県宮若市倉久 2223-1
資本金	35億円
生産拠点	福岡工場(本社)、北九州工場、佐賀工場
従業員数	635名(2020年3月末時点)

お問い合わせ先：豊田合成(株) 広報室 浅倉、川人 (Tel. 052-400-1452)